



X League
X League
NEWS 2006.05.07

発行：エムアイプランニング
監修：日本社会人アメリカンフットボール協会

PEARL BOWL TOURNAMENT

アサヒビール 好発進

「アサヒビール・ルネサス」1Q1分、アサヒビール・有馬が先制のタッチダウンパスを決める
 大井第2球技場（エムアイプランニング・嶋口雄治）



第31回パールボウルトーナメント第2節
5月6日（大井第三球技場）

アサヒビールシルバースター
1Q:8 2Q:6 3Q:6 4Q:8 = 28
ルネサスハリケーンズ
1Q:0 2Q:0 3Q:0 4Q:0 = 0

◆アサヒビール零封勝利◆

アサヒビールがルネサスを相手に好発進を見せた。ルネサスは前回明治安田に惨敗を喫し、何とかアサヒビールから勝ち星を奪いたかった。しかし試合開始早々ゲームは動いた。第1クォーター1分、アサヒビールQB・有馬（#3）から14ヤードのパスをTE・橋詰（#88）がキャッチ、先制のタッチダウンを決めた。このタッチダウンで流れに乗ったアサヒビールは、続く第2クォーター7分、またしてもQB・有馬（#3）から25ヤードのパスが、WR・山田（#82）と渡りタッチダウン。ルネサスもファーストダウン21回とアサヒビールとの差は4回ではあるが、結局タッチダウンには結びつかなかった。アサヒビールはルネサスに対し堅い守りで零封で初戦を飾った。ルネサスは0勝2敗で予選ブロック敗退となった。（大賀章好）

観客と一体となり選手たちに声援を送るオンワード・チアリーダー①
 =大井第2球技場 (エムアイプランニング・山川静子)

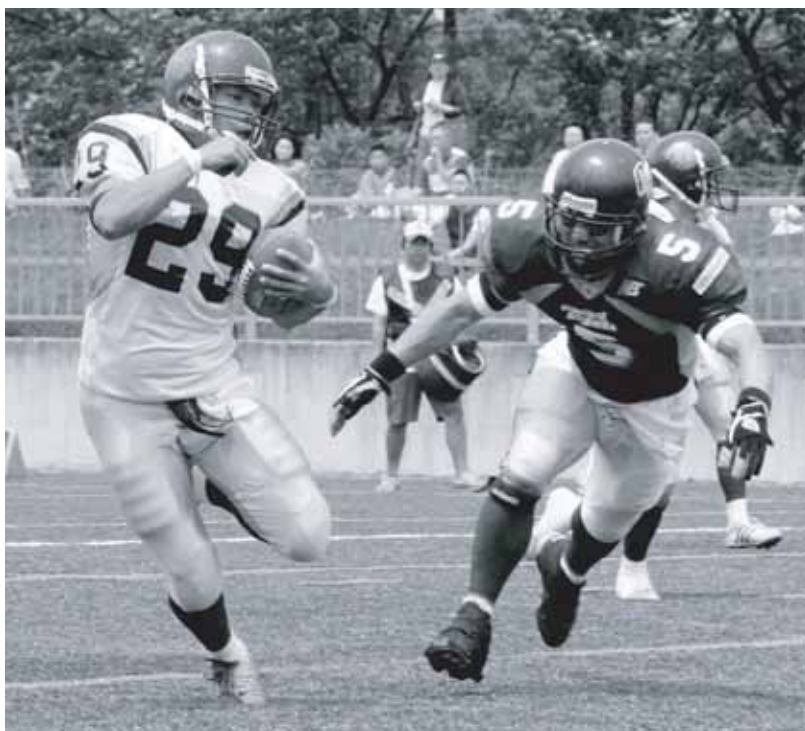


【オンワードオール三菱】2Q5分、オンワード・杉原(左)がキックオフリターンによりタッチダウンを決め13点目を挙げる②

【オンワードオール三菱】2Q5分、オール三菱・平野(左)が相手ディフェンスをかわしタッチダウン。TFPも決まり7-7の同点とする③
 =大井第2球技場 (エムアイプランニング・嶋口雄治)

第31回パウルボウルトーナメント第2節
 5月6日 (大井第二球技場)

オンワードスカイラクス
 1Q:7 2Q:7 3Q:0 4Q:14 = 28
 オール三菱ライオンズ
 1Q:0 2Q:7 3Q:0 4Q:0 = 7



◆オンワード手痛い失点◆

オール三菱は前回の日産との接戦で敗れ、後がない試合となった。先制点を奪ったのはオンワードだった。第1クォーター7分、RB・杉澤(#31)が残り1ヤードを走り先制のタッチダウンを決めた。しかし、オール三菱・RB・平野(#29)が第2クォーター5分、10ヤードを走り込み同点のタッチダウンを決めた。喜びもつかの間、オンワードRB・杉原(#20)がキックオフリターンにより90ヤードを独走し勝ち越しのタッチダウンを決めた。その後、波にのったオンワードはオール三菱を寄せつけず最終的に28-7で初戦を飾った。オール三菱は0勝2敗で予選ブロックで敗退となった。(大賀章好)